

あなたは Bluetooth派? MESH派?

SENA インカム エントリーガイド

今やバイクライフに欠かせないアイテムとなっているのが“バイク用インターコム”
セナでは、まだインターコムを使ったことがない、というようなライダーに向けて
さまざまなスタイルのエントリーモデルを用意。自分にぴったりの一台が見つかるはずだ!

文/八百山ゆーすけ 問:セナブルトゥースジャパン <https://senablueooth.jp>

SENA Bluetooth モデル

3S PLUS

価格: 1万4740円
SENA Bluetooth

インターコム本体とマイク、スピーカーが一体になった、ヘルメット内蔵式モデル。ヘルメットの外側に本体を取り付ける必要がないため、クラシックタイプのヘルメットをはじめ、スタイル重視のライダーにオススメだ。おもにソロで走るときに音楽やナビ音声を聞いたりといった使い方に最適。フルフェイスヘルメットに対応したケーブルマイクタイプも選べる

こんな人にオススメ

- 目立たせたくない人
- タンデム用、2つ目のヘルメットなどサブとして



こんな人にオススメ

- より良い音質でツーリングを楽しみたい
- お馴染みの操作感「ジョグダイヤル」



5S

価格: 2万2440円
SENA Bluetooth

コンパクトでありながら、セナ・インターコムのアイコンともいえる「ジョグダイヤル」を採用したモデル。ダイヤルを“回す”“押す(選択)”操作が直感的で使いやすい。動作状態が一目でわかるLCDスクリーンがとて便利です。ソロユースのライダーにオススメの一台



SF4

価格: 2万7720円
SENA Bluetooth

スリムで3つボタンスタイルのシンプルな「SF」シリーズの兄貴分。最大1200mの距離で最大4人でのグループ通話が可能。接続するスマホがAndroidであれば、「オーディオオーバーレイ機能」によって、音楽やナビ音声を聞きながらインターコム通話ができる

こんな人にオススメ

- シンプル&コンパクトなフォルム
- スマホナビ案内を聞きながらFMラジオも楽しみたい人

SFシリーズには、通信距離の短いタンデム用のSF1(1万6070円)、SF1に比べて通信距離が長いSF2(2万2020円)もある。ユーザーのさらに細かい用途に答えているのがSFシリーズ。数字が増えるほど通信距離や機能が増えている



メッシュに参加するなら

+MESH
価格: 1万9140円

セナのブルトゥースインターコムが、メッシュ・グループに参加できるようになる“中継アダプター”。ブルトゥースインターコムとペアリングしておけば、あとはボタンひとつでメッシュ・グループに参加できる

上位機に勝るとも劣らないエントリーモデル

日常生活でSNSが欠かせないものとなっているように、バイク用インターコムは、仲間と一緒にツーリングをするときだけでなく、ソロツーリングや通勤・通学といった一人で走るような場合でも、なくてはならないアイテムとなっている。その一方で、インターコムというと「多機能で使いこなせないかも」と敷居を感じて、いまだに使っていないというライダーも少なくない。そんな人にオススメ

メなのが、セナ・インターコムの「エントリー」モデルだ。エントリーモデルと言っても、基本的な機能は上位モデルと大きく変わることはない。インターコム通話は、通話相手が1人〜3人ではあるものの、スマートフォンの接続すれば、ナビアプリの音声案内やお気に入りの音楽を聞いたり、電話やメッセージングアプリの通話もできるなど、上位機とできることは変わらない。

さらにセナのエントリーモデルの場合、そのスタイルもバリエーションが豊富。自分の用途やバイ

クラライフ、ツーリングスタイルに応じて、モデルを選べる。さらに、セナのラインナップには、メッシュ・インターコムのスタンダードモデル「スパイダーST1」もある。将来的にインターコムの中心がメッシュに移っていくというところも踏まえて、こちらを選ぶという手もある。

いずれにしても、エントリーモデルながら幅広い選択肢が用意されたセナ・インターコムのラインナップ。もう、バイクに乗るときにはインターコムが手放せない!

SENA MESH モデル

SPIDER ST1

価格: 3万2780円
MESH

セナ・メッシュ・システムを採用した、リーズナブルな価格のモデル。一緒に走る仲間がメッシュ・インターコムだという人に最適。ボタンひとつでつながるメッシュ&ジョグダイヤルのシンプルな操作性が使いやすい

こんな人にオススメ

- よく行くメンバーがSENAメッシュユーザー
- 次世代の通信手段をいち早く体感しておきたい人

